

廣徳博洋シ心動悸...
 ア、脈...
 八、十一月十四日...
 六、死亡年月日...
 七、死亡診断書...
 八、死亡年月日時...
 九、死亡場所...

本署...
 昭和十九年十一月十五日...

死亡診断書

一、氏名 三瓶安雄

二、男女ノ別 男

三、出生年月日 大正十二年十月十日

四、職業 第六十二師團獨立歩兵隊第六大隊歩兵砲中隊陸軍上等兵

五、病歴 戦傷死

六、病名 栄養失調症(戦傷)

七、發病年月日 昭和十九年七月二十日

八、死亡年月日時 昭和十九年十一月十五日午後四時三十分

九、死亡場所 沖繩陸軍病院

右證明候也

昭和十九年十一月十五日

沖繩陸軍病院附陸軍衛生部見習士官

町田宗俊



昭和十七年十一月十五日
陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ

遺族

一、昭和十七年十一月十五日
二、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
三、大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ
四、昭和十七年十一月十五日
五、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
六、大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ
七、昭和十七年十一月十五日
八、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
九、大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ
十、昭和十七年十一月十五日
十一、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
十二、大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ
十三、昭和十七年十一月十五日
十四、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
十五、大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ
十六、昭和十七年十一月十五日
十七、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
十八、大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ
十九、昭和十七年十一月十五日
二十、陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

海軍省

諸給與金證明書

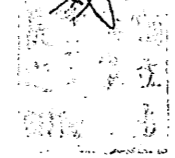
本籍地
現住所



第六十二師團獨立歩兵第二十二大隊 歩兵砲中隊
故陸軍上等兵 三瓶守雄

右者對スル昭和十七年一月三十一日陸軍省告示第二號
大東亞戦役ニ係ル死没者特別賜金賜與規定第二
條第二項ノ諸給與金ニ付テハ証明ス
昭和十九年十一月十五日

獨立歩兵第二十二大隊長 磯崎 璣



自昭和十八年十月十三日
至同 年十月十四日
至同 年十月十八日

一發病年月日

大腸炎ニ因リ潞安陸軍病院ニ入院中
晋中晋東南地區警備
昭和十八年十一月十五日
中華民國山西省潞城縣潞城

一發病場所

一病名

一發病狀況

本症山西省潞城ニアリテ警備勤務中昭和十八年十一月十五日頃ヨリ腹滿感心下腹痛及數行ノ下痢ヲ訴フ中隊ニテテ治療ヲ受ケシモ症狀輕快セス十一月十五日受診直ニ入室セシメ隊治ヲ施シタル二十二月十九日ニ至リ下痢ハ止リタルモ同日ヨリ日哺潮熱アリ依テ同月二十五日入院セシム
本症發生ノ原因ヲ探究スルニ既往症ニ於テ大腸炎ニ因リ昭和十八年十月ヨリ間入熱他着患ヲ識ラズ家族歴ニアリテモ何等認ムベキモノナシ健康ニテ渡支前記ニ示ス如ク長期間作戦警備ニ從事シタルモ編成改正ニ伴山西省ヨリ氣候ニ変ヒル山西省ニ轉進爾來設備不完全ナル支那家屋ニ

書字訂正

起居シ日夜繁敷ナル警備肅正討伐ニ身體ノ疲勞次第ニ累積シ遂ニ本症ヲ誘發セシメタルモノニシテ之真ニ公務ニ基因スルモノト認ム

右證明ス

昭和十八年十二月二十五日

獨立歩兵第二十二大隊長 陸軍中佐 磯崎 璣
獨立歩兵第二十二大隊附 陸軍中尉 堂田 純夫

自昭和十一年十月三日
至同 年十月三日
至同 年十月三日
至同 年十月三日
至同 年十月三日

長勝炎之因少發陸軍病院二入院中
晉中晉東南地區警備
昭和十一年十月五日
中華民國山西省潞城縣潞城

一發病年月日
一發病場所
一病名

獨立步兵第二十二大隊 為一中隊
陸軍兵長 谷口 廣士

本籍地
現住所

昭和十四年徵集
肺結核兼腸結核
昭和十八年拾壹月貳拾五日
中華民國山西省潞城縣潞城
別紙事實證明書、如シ

度支前記ニ示ス如ク長期間作戦警備ニ從事シテ身體衰弱ニ至リ
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

病歷書

本籍地
現住所

- 一病名 肺結核兼腸結核
- 二發病年月日 昭和十八年拾壹月貳拾五日
- 三發病場所 中華民國山西省潞城縣潞城
- 四原因 別紙事實證明書、如シ
- 五經過

中華民國山西省潞城縣潞城ニ於テ警備勤務ニ從事中昭和十八年
十月二十日頃、腹滿感、下腹痛、及數行ノ下痢起リ同年十二月
十九日、下痢止ミタルモ日、嘔潮熱アリ同月二十五日、治安陸軍病院ニ入院
當時體格營養共ニ中等ナリシニ、八、九、度餘ニ及ブ日嘔潮熱アリ顔色
蒼白、食慾性、呈シ、若氣ニ乏シ、兩鎖骨上下窩、打診上着變ナキモ

呼吸音粗裂左肩胛間部より下部直リ短調水泡音ヲ聴取シ腹部
略々平坦柔軟腫瘍ヲ觸知セザリシモ左下腹部ニ壓痛ヲ認メ下腹
痛ヲ訴ヘ一日數行ノ下痢乃至軟便アリ時々粘液乃至血液ヲ混ズ容
痰中結核菌ヲガフキ一表七號内外證明ノ尿中赤痢菌及赤痢菌
イハ陰性ナリシヲ以テ昭和十九年一月七日病ヲ肺結核ト決定セラレ
テ爾來治療法トシテ各種收斂劑、解熱劑等ノ内服ト共ニカルシムル
液葡萄糖液塩酸エネチン液等ノ注射ヲ行ヘモ三六〇度内外ノ發熱
持續數行ノ粘血性下痢進マズ榮養次第ニ退シ三月二十八日大原
陸軍病院ニ轉入ス

當時依然體温三八〇度内外ヲ稽留乃至弛張ニ揮軟弱一ニ至リ鼻
シ數行ノ下痢持續シ羸瘦貧血セリ左鎖骨下窩リ第二肋間ニ直リ數
音ヲ呈シ嚙子音ヲ聴取シ第四肋間以下並ニ同肩胛下角以下濁音ヲ
呈シ同肩胛上部ヨリ間部ニ直リ短調左胸一般ニ呼吸音減弱特ニ下
部ニ著明ニシテ乳嘴部ニ摩擦音ヲ聴取シ右鎖骨上下窩短調同肩

胛上部ヨリ間部ヲ經テ下部ニ直リ抵抗アリ右胸到ル處ニ中小水泡音
ヲ聴取シ胸部レントゲン寫眞上々上及中肺野内側稍々明ルク雲如ク
狀陰影ヲ認メ同外側ヨリ肺尖野及肺野ニ直リ瀰漫性濃厚陰影ノ
ニテ蔽ハル右殆ンド全肺野斑點ハ乃至雲如狀陰影ヲ認メ心音低
調最高血壓一〇二托ニ下降シ腹部柔軟ナルモ稍々陷没シ迴盲部ニ
壓痛アリ臍左側ニ鷄卵大ノ腫瘤ヲ觸知セリ赤血球沈降及應四〇
托ニ促進シ喀痰中結核菌ヲガフキ一表二一三號證明シ亦尿中結核
菌ヲガフキ一表二一三號證明セルヲ以テ同年四月十三日腸結核ヲ兼發
セリ此間榮養補給増進ニ努ムル一方コヒタミンB及C劑各種強心
劑ノ注射ヲ施シモ病症逐日増悪シ同月十八日約三〇瓦ノ陳舊性物
出血アリ各種止血劑ノ注射及輸血並ニ阿片丁幾ノ内服等ニ依リ全ク
止血セルモ爾來病症頓ニ悪化シ脈搏微弱一三〇至ヲ算シ呼吸促進
神識朦朧トナリ更ニ各種強心劑及呼吸中樞興奮劑ヲ追加注射
スルト共ニ酸素吸入ヲ施シ百方加療ニ努ムルモ同月二十日九時頃リ
病症全ク危篤ニ陥リ同日午後壹時零分遂ニ鬼籍ニ入ル

六死亡年月日 昭和拾九年四月貳拾日午後壹時零分
七死亡場所 中華民國山西省太原陸軍病院
右ノ通りニ候也

昭和拾九年四月貳拾日

太原陸軍病院附 陸軍々醫中尉佐久間 眞

證明書

本營地
現住所

獨立歩兵第二十二大隊第一中隊

昭和十四年徵集 陸軍上等兵谷口廣七

一 病名 腸結核

一 年月日 昭和十九年四月十三日

一 公認處 昭

本病、別紙所屬部隊長調製事實證明書、
勤務要因、昭和十八年十月二十日、自中華民國山
西省潞城縣潞城、於六、戰地勤務中發病、
同年十二月二十五日潞安陸軍病院ニ入院、昭和
十九年一月七日肺結核ト決定、同年三月二十日
太原陸軍病院ニ転入、加療中、兼發セシメ、ト
認ム

右證明書
昭和十九年三月三日
太原陸軍病院長

三浦大三郎

大原陸軍病院
昭和九年四月廿拾日
山西省大原陸軍病院

大原陸軍病院
昭和九年四月廿拾日

昭和九年四月廿拾日
大原陸軍病院
昭和九年四月廿拾日

昭和九年四月廿拾日
大原陸軍病院
昭和九年四月廿拾日

死亡證書

獨立步兵第三十二大隊第一中隊

陸軍軍官 谷口 廣士

右昭和九年拾壹月貳拾五日中午華民國山西省潞城縣潞城ニ於テ
警備勤務ノ際肺結核ニ罹リ爾後潞安陸軍病院ヲ經テ昭和
拾九年參月貳拾八日來太原陸軍病院ニ於テ加療セシ處賜
結核ヲ兼發シ遂ニ肺結核兼腸結核ニ由リ本日午後壹時零分
死ス

昭和九年四月廿拾日

太原陸軍病院長 陸軍軍醫大佐 三浦大三郎